

四半期報告書

(第 1 期第 3 四半期)

自 2023年10月 1 日

至 2023年12月31日

大阪 I R 株式会社

目 次

頁

表 紙

第1 法人の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
3 経営上の重要な契約等	2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	3
(2) 新株予約権等の状況	3
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	3
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	3
(5) 大株主の状況	3
(6) 議決権の状況	4

2 役員の状況

4

第4 経理の状況

5

1 四半期個別財務諸表等

(1) 四半期個別財務諸表	6
①四半期貸借対照表	6
②四半期損益計算書	7
③四半期キャッシュ・フロー計算書	8
④四半期附属明細表たる業務別営業収支明細表	10
(2) その他	11

[確認書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【提出先】	国土交通大臣
【提出日】	2024年2月9日
【四半期会計期間】	第1期第3四半期（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）
【名称】	大阪IR株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 エドワード・パウワーズ 代表取締役 高橋 豊典
【本店の所在の場所】	大阪府大阪市北区中之島三丁目3番23号
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	代表取締役 エドワード・パウワーズ 代表取締役 高橋 豊典

第 1 【法人の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第 1 期 第 3 四半期累計期間
会計期間	自 2023年 4 月14日 至 2023年12月31日
営業収益 (百万円)	—
経常損失 (△) (百万円)	△184
四半期純損失 (△) (百万円)	△186
持分法を適用した場合の投資利益 (百万円)	—
資本金 (百万円)	10,682
発行済株式総数 (株)	427,300
純資産額 (百万円)	21,014
総資産額 (百万円)	23,278
1 株当たり四半期純損失 (△) (円)	△1,061.90
潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益 (円)	—
1 株当たり配当額 (円)	—
自己資本比率 (%)	90.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△17,742
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	20,428
現金及び現金同等物の四半期末残高 (百万円)	2,723

回次	第 1 期 第 3 四半期会計期間
会計期間	自 2023年10月 1 日 至 2023年12月31日
1 株当たり四半期純損失 (△) (円)	△92.76

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社を有していないため記載しておりません。
3. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、1 株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、第 1 四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前会計年度末との比較分析は行っておりません。

2 【事業の内容】

当第 3 四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、第1四半期報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前会計年度末との比較分析は行っておりません。また、特定複合観光施設の営業を開始していないため、業務区分ごとの記載はしておりません。

(1) 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、差入保証金15,178百万円等により、23,278百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、未払金2,180百万円等により、2,264百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、21,014百万円となりました。

(2) 経営成績の状況

当第3四半期累計期間においては、営業収益はありませんでした。

営業費用は、租税公課を計上したこと等から112百万円となり、営業損失は112百万円となりました。

営業外費用は、株式交付費を計上したことから71百万円となり、経常損失は184百万円となりました。

これに法人税、住民税及び事業税1百万円を計上した結果、四半期純損失は186百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、期首に比べ2,665百万円増加し、2,723百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは20百万円の減少となりました。これは税引前四半期純損失△184百万円や株式交付費71百万円等の計上によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは17,742百万円の減少となりました。これは保証金の差入による支出14,528百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは20,428百万円の増加となりました。これは株式の発行による収入20,428百万円によるものです。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2023年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2024年2月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	427,300	483,300	非上場	当社は単元株制度は 採用しておりませ ん。(注)
計	427,300	483,300	—	—

(注) 当社の株式を譲渡により取得するには、取締役全員の承認を要する旨定款に定めております。

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2023年10月1日～ 2023年12月31日	—	427,300	—	10,682	—	10,682

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

①【発行済株式】

2023年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	—	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 427,300	427,300	—
単元未満株式	—	—	—
発行済株式総数	427,300	—	—
総株主の議決権	—	427,300	—

②【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

第1四半期報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「特定複合観光施設区域整備法に基づく設置運営事業等の監査及び会計に関する省令」（令和3年国土交通省令第75号）及び「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

なお、当社は、第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前会計年度末との比較分析は行っておりません。

2. 監査証明について

当社は、IR整備法第28条第15項の規定に基づき、第3四半期会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（2023年4月14日から2023年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期個別財務諸表等】

(1)【四半期個別財務諸表】

①【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

当第3四半期会計期間
(2023年12月31日)

資産の部		
流動資産		
現金及び預金		2,723
その他		1
流動資産合計		2,724
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定		3,213
有形固定資産合計		3,213
投資その他の資産		
差入保証金		15,178
その他		2,161
投資その他の資産合計		17,339
固定資産合計		20,553
資産合計		23,278
負債の部		
流動負債		
未払金		2,180
未払法人税等		83
その他		0
流動負債合計		2,264
固定負債		
固定負債合計		—
負債合計		2,264
純資産の部		
株主資本		
資本金		10,682
資本剰余金		10,682
利益剰余金		△350
株主資本合計		21,014
評価・換算差額等		
評価・換算差額等合計		—
純資産合計		21,014
負債純資産合計		23,278

②【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 〔自 2023年4月14日 至 2023年12月31日〕
営業収益	—
営業費用	112
営業損失(△)	△112
営業外収益	—
営業外収益合計	—
営業外費用	—
株式交付費	71
営業外費用合計	71
経常損失(△)	△184
特別利益	—
特別利益合計	—
特別損失	—
特別損失合計	—
税引前四半期純損失(△)	△184
法人税、住民税及び事業税	1
法人税等調整額	—
法人税等合計	1
四半期純損失(△)	△186

③【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

		当第3四半期累計期間 〔自 2023年4月14日 至 2023年12月31日〕
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）		△184
その他		164
小計		△19
法人税等の支払額		△0
営業活動によるキャッシュ・フロー		△20
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△3,213
保証金の差入による支出		△14,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		△17,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入		20,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		20,428
現金及び現金同等物に係る換算差額		—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）		2,665
現金及び現金同等物の期首残高		57
現金及び現金同等物の四半期末残高		※ 2,723

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月14日 至 2023年12月31日)
現金及び預金勘定	2,723百万円
現金及び現金同等物	2,723

(株主資本等関係)

I 当第3四半期累計期間(自 2023年4月14日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2023年9月22日付で、第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が10,250百万円、資本準備金が10,250百万円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が10,682百万円、資本準備金が10,682百万円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月14日 至 2023年12月31日)
1株当たり四半期純損失	1,061円90銭
(算定上の基礎)	
四半期純損失(百万円)	△186
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	△186
普通株式の期中平均株式数(株)	175,353

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2024年1月19日開催の株主総会において、次のとおり第三者割当による新株式の発行について決議し、2024年1月23日に払込が完了しております。

- (1) 発行する株式の種類及び数：普通株式 56,000株
- (2) 発行価額：1株につき50,000円
- (3) 発行価額の総額：2,800百万円
- (4) 資本組入額：1株につき25,000円
- (5) 資本組入額の総額：1,400百万円
- (6) 払込期日：2024年1月23日
- (7) 募集又は割当方法：第三者割当
- (8) 資金の使途：設備投資資金及び運転資金

④ 【四半期附属明細表たる業務別営業収支明細表】

I 当第3四半期累計期間（自 2023年4月14日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

区分	カジノ 業務	カジノ 行為区 画内関 連業務	国際会 議場施 設業務	展示等 施設業 務	魅力増 進施設 業務	送客施 設業務	宿泊施 設業務	来訪・ 滞在促 進寄与 施設業 務	設置運 営事業 に附帯 する業 務	合計
営業収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
営業費用										
商品等販売原価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人件費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
業務委託費	0	0	0	0	0	0	2	3	—	7
消耗品費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
修繕費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
減価償却費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
租税公課	2	4	4	3	1	1	32	36	—	87
貸倒引当金繰入額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	0	0	0	0	0	0	6	6	—	16
営業費用合計	3	6	5	4	1	1	42	47	—	112
営業損失（△）	△3	△6	△5	△4	△1	△1	△42	△47	—	△112

（注）認定設置運営事業者等が行う業務に係る資産及び費用のうち、I R整備法第28条第2項の業務に係る資産又は費用として特定できないものは、区域整備計画に記載の各施設の床面積比に基づく算定を行っています。

(2) 【その他】

該当事項はありません。

【表紙】

【提出書類】

確認書

【根拠条文】

☐ 特定複合観光施設区域整備法第28条第7項

☒ 特定複合観光施設区域整備法第28条第12項において準用する同条第7項

【提出先】

国土交通大臣

【提出日】

2024年2月9日

【名称】

大阪 I R 株式会社

【代表者の役職氏名】

代表取締役 エドワード・パウワーズ

代表取締役 高橋 豊典

【最高財務責任者の役職氏名】

該当事項はありません。

【本店の所在の場所】

大阪府大阪市北区中之島三丁目3番23号

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役 エドワード・パウワーズ及び代表取締役 高橋 豊典は、当社の第1期第3四半期（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）の四半期報告書の記載内容が特定複合観光施設区域整備法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。